

## 南阿蘇村

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

南阿蘇村教育委員会においては、国のGIGAスクール構想に基づき、令和2年度から全ての小中学校で1人1台端末（タブレット端末）と高速大容量の通信ネットワークの構築など新たな時代の変化に対応するため、南阿蘇村教育大綱にも掲げているICT環境整備に基づく「GIGAスクール構想」の実現に向けたタブレット端末を活用した教育環境の整備など、これからの教育DX化に合わせて子どもたちの「情報活用能力（調べる・まとめる・発信する）」の習得を促進し、電子黒板、モバイル端末、デジタル教材等を効果的に活用できるよう支援します。

#### 2. GIGA第1期の総括

本村では、令和2年度から、GIGAスクール構想に対応する学習ネットワークを整備し、一人一台端末を導入しました。現在では家庭での持ち帰りを行う学校もあり、学習用ドリル教材としてクラウド型学習支援サービスを活用した家庭学習体制も整ってきました。併せて授業支援教材としてクラウド型の授業支援サービスを使用し、意見共有等のため授業で活用してきました。

GIGAスクールの運営支援を業者に委託し、ネットワークトラブル等の早期解決や学校の要望に応じたICT講習会の開催など、児童生徒の学習環境に支障が生じないように努めるとともに、児童生徒に情報活用能力を身に付けさせるための教職員のICT活用指導力の養成を図りました。

新型コロナウイルス感染症の感染等により学校に登校できない児童生徒の学びを保障するため、自宅に通信ネットワークが整備されていない児童生徒については、1人1台端末の持ち帰りに加えて、モバイルルーター等の貸出しを行いました。

さらに、ネットワーク整備については、令和6年度にネットワークアセスメントを実施予定であり、不具合の原因を明らかにし、今後、ネットワーク環境改善に向けた対策を行います。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

南阿蘇村では、GIGAスクール構想第2期において、端末を更新し、児童生徒1人1台の端末環境を引き続き維持します。その効果的な利用促進に向けて、以下の取り組みを進めていきます。

##### (1) 1人1台端末を積極的に活用するために

利活用の推進に当たっては、子どもたち一人一人が情報を正しく理解し適切に判

断し、行動できる力を持つことが必要である。端末の活用を進めるにあたっては学校だけではなく家庭での使い方も非常に重要であるため、情報モラルについて周知啓発をする。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

1人1台端末の利用により「個別最適な学び」の充実を図る。その際に、ICTを活用し、学習履歴や生徒指導上のデータを利活用することで一人一人の児童生徒に合わせた指導の個別化を進めるとともに、一人一人の児童生徒の興味・関心や意欲に応じた学習活動の機会を提供する学習の個別化を目指していくことが重要である。

また、児童生徒が「自分で調べる場面」、「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」、「教職員と児童生徒がやりとりする場面」、「児童生徒同士がやりとりする場面」、「児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」の5つの場面における具体的な活用方策について、課題の洗い出しや活用事例の情報共有など、学校と連携を図りながら検討し、実行することで学校教育の質の向上を図る。

(3) 全ての児童生徒の学びを保障するために

1人1台端末の利活用により、家庭への持ち帰りを可能とし、長期休業中の課題やデジタルドリル等を用いた家庭学習など様々な場面で活用することで、個々の家庭状況や学校教育になじめない児童生徒に対する学びの機会の保障等、教育の機会均等を確保する。